

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

事業名 農業研修環境改善整備事業費（R 8 実施分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

農政部 農業大学校 総務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail：c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,978 千円（現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	9,978	4,989	0	0	0	0	0	0	4,989
決定額	9,354	4,677	0	0	0	0	0	0	4,677

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

地球温暖化に伴う異常気象により、夏場における高温の期間が長期間かつ状態化してきており、令和 7 年 6 月から 8 月の 3 ヶ月では猛暑日が 47 日となった（アメダス情報：観測地点「美濃加茂」）。このような猛暑の中においても、農業大学校では夏場、屋内でとりわけビニールハウス及び牛舎での長時間の収穫及び家畜飼養作業を実施せざるを得ず、毎年学生に対して暑さ対策を講じるよう周知を図ってきたが、暑さを遮る手立てがないため、体調を崩した者もいた。

このような中、令和 7 年 6 月に労働安全衛生規則が改正され、職場において熱中症予防について、事業者が基本的な対策を講ずることが義務化された。農業は、異常高温の中でも作業に従事せざる状況であり、栽培技術や家畜飼養及び労働環境の改善を科学的根拠に基づき指導するうえで、高温化に適応した学習環境を整える必要があり、学生への身体的負担の軽減とともに、猛暑を理由とした農業及び畜産業からの離散防止を図る必要がある。

（２）事業内容

農業研修現場の環境改善を図り、円滑な業務推進体制を構築する。

○農業大学校への資機材導入（予算額：9,978 千円）

- ・ペットボトル及び保冷剤用冷凍冷蔵庫の導入
- ・スポットクーラーの導入
- ・園芸ハウス及び肉牛舎への細霧冷房システムの整備

○熱中症対策は喫緊の課題であり、一刻も早い対策が必要であるため、地方創生推進交付金を活用し、集中的に導入・整備を図る。

（３）県負担・補助率の考え方

県10/10（県機関への環境及び施設整備事業のため）

※地方創生推進交付金（地域未来交付金）活用

（４）類似事業の有無

有 施設整備事業費（運営）【農業大学校】

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費 （消耗品費）	132	スポットクーラー
備品購入費	492	ペットボトル及び保冷剤用冷凍冷蔵庫
工事請負費	9,354	園芸用ハウス細霧冷房システム設置工事及び肉牛舎用細霧冷房システム設置工事
合計	9,978	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- ・清流の国ぎふ創生総合戦略
3（３）①農林畜水産業を支える人材の育成・確保
- ・「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和８年３月策定予定）」

（３）後年度の財政負担

なし（単年度で実施）

（４）事業主体及びその妥当性

本県農業を支える認定農業者等の雇用確保、経営継続のためには、近年大きな課題となっている高温時の農作業及び家畜飼養環境改善対策が不可欠である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高温下に対応した農作業環境を整備し、本県農業を支える認定農業者等の雇用確保、経営継続に繋げる。

高温下に対応した学習環境を整備し、高温時の作業を学習させることによって、本県の農業者を育成することができる。

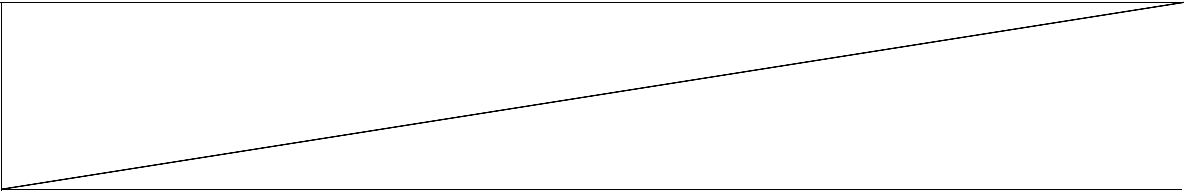
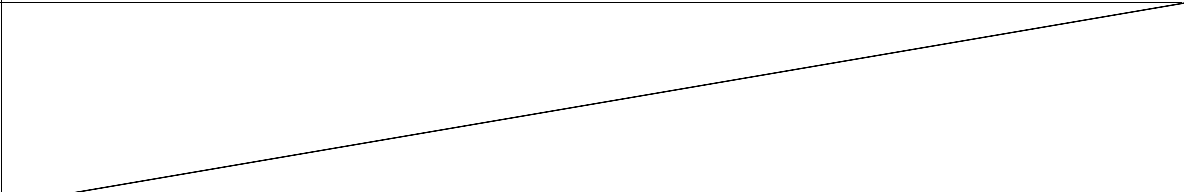
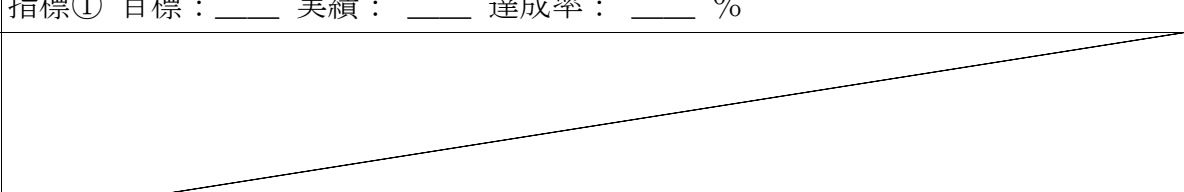
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

高温対策に必要な備品や施設整備等を行う事業であり、具体的な指標を設定するのが困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

2

高温対策に必要な備品や施設整備等を行うことで、高温時の実習を効率的に行うことができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

- ・温暖化の進行により、高温対策を講じても、学生によっては体調不良者が出る場合もあるため、新たな対策が必要である。
- ・ランニングコスト (電気料金)

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

- ・効果を確認しながら、次年度以降の導入を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など